

平成27年度に策定した「第2次
城里町総合計画(平成28年度〜令和
7年度)」に基づき、

- 働く場所をつくる
- 住みよい環境をつくる
- 住む場所をつくる
- 愛する心を育成する

を4つの政策の柱として、今年度
も人口減少対策に引き続き取り組
みます。

令和5年度

施政方針と予算の概要

令和5年度の施政方針の主な内容をお知らせします。施政方針とは、町政運営に対する町長の考えや主要な施策を明らかにするものです。



城里町長
上遠野 修

令和2年に新型コロナウイルス感染症が日本で初めて確認されて以来、約3年にわたり感染症対策に翻弄されてきましたが、すでにマスクの着用義務が解除され、5月8日からはインフルエンザと同等の5類感染症となり、濃厚接触者の隔離などが不要になります。今年は「ポストコロナ」元年であり、地域社会に活気を取り戻していく年にしていかなければなりません。

新型コロナウイルス感染症の流行は思わぬ効果をもたらしました。感染の広がる東京への人口集中が緩和され、地方への人口回帰の動きが現れたのです。茨城県においても、令和3年・4年の2年連続で転入超過となりました。城里町もこの時流をしっかりと捉え、昨年は44人という大幅な転入超過を達成しました。これは、「城里町は住みやすいまち」と評価する人が増えていることの証といえます。このような評価を維持できるように、努力を続けて参ります。

さて、令和5年度については「災害に強い町づくり」に取り組んで参ります。コミュニティセンター・城里の屋上に太陽光発電設備を導入し、蓄電池を備え、「大規模災害時にも停電しない避難所」づくりを開始するとともに、本庁舎の太陽光発電設備を増設し、災害時の停電に強い役場としていきます。また、常北中学校下の新道川を引き続き整備し、安全で快適な美しい川辺の空間をつくっていきます。

次に、「子育て支援の充実」に取り組んで参ります。耐震性に不安があり、建て替えの要望をいただいているおひさま学童クラブ園舎(旧常北幼稚園舎)について、建築工事を行います。新しい建物については、学童クラブだけが使用するのではなく、集会所や避難所としても利用できるような運用を行っていきます。さらに、スクールバスの利用ができません、小学校まで約2キロを超える児童の保護者を対象に、路線バス定期代または送迎

の燃料代を補助する制度を創設していきます。

また、「産業の元気な町づくり」を進めて参ります。まず、城里町としての一大事業である「道の駅かつら」建て替え事業に引き続き取り組んでいきます。昨年度は、地権者の協力もあり、測量・地盤調査・基本設計などを進めることができました。令和5年度は、基本設計を完了させ、事業認定の取得、実施設計、用地の買収へと進めていきます。また、物価高騰に苦しむ小規模水田農家の支援、地域おこし協力隊による地域農業の担い手確保、商工業者の設備投資支援など、バランスのとれた産業支援を実施して参ります。

結びとなりますが、今後とも町民との対話・協働を図りながら、まちの将来像である「人と自然が響きあいつともに輝く住みよいまち」づくりの実現に向け、全力で取り組んで参ります。

命と暮らしを守り、新たな未来を切り拓く！



**安心・安全で地域に親しむ
新道川を整備**
(予算額：8,250万円)

安全で快適な河川環境を実現するため、新道川の整備工事を行います。



**放課後児童クラブ施設整備
安全で健やかな居場所づくり**
(予算額：7,433万7千円)

おひさま学童クラブの老朽化施設を改善し、放課後児童の健全な育成と運営環境の充実を図ります。



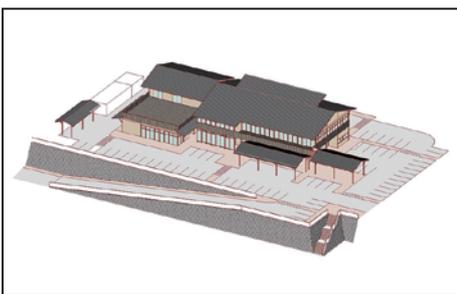
**コミュニティセンター城里
避難所としての防災力強化**
(予算額：4,997万円)

災害時の電源確保や再生可能エネルギーの創出のため、太陽光発電設備等を設置します。



**小学生から大学生までの
路線バス等の通学費を助成**
(予算額：933万1千円)

児童・生徒・学生の保護者等の経済的負担を軽減するため、通学費の一部を助成します。



▲「道の駅かつら」完成イメージ

働く場所をつくる

- 町内に事業所等の新設や増設を行う企業へ、企業立地奨励金を交付するなど、積極的な支援を行います。
- 地域おこし協力隊を積極的に採用し、地域の活性化を図るとともに、「まちづくり」の主要な担い手となり得る人材を育成します。
- 新規就農者の機械導入や施設整備に係る経費について支援を行います。
- 那珂川大橋の架け替えにもない、道の駅かつらを移転し、より魅力的な施設に建て替えるための基本設計・実施設計業務、事業認定の取得、用地の買収等を行います。

住みよい環境をつくる

- 町内に事業所等の新設や増設を行う企業へ、企業立地奨励金を交付するなど、積極的な支援を行います。
- 地域おこし協力隊を積極的に採用し、地域の活性化を図るとともに、「まちづくり」の主要な担い手となり得る人材を育成します。
- 新規就農者の機械導入や施設整備に係る経費について支援を行います。
- 那珂川大橋の架け替えにもない、道の駅かつらを移転し、より魅力的な施設に建て替えるための基本設計・実施設計業務、事業認定の取得、用地の買収等を行います。
- 小・中学校に加えて、保育所および認定こども園に通う3〜5歳児の給食費無償化を続け、茨城県トップクラスの子育て支援を進めていきます。
- 避難所として利用するコミュニティセンター城里および災害対策本部として利用する本庁舎に太陽光発電設備等を整備・増設し、防災拠点としての機能拡充を図ります。
- すべての妊婦さんや子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、面談等を通じてさまざまな相談に応じるとともに、出産・子育てを応援するための給付金を支給します。
- 聴力機能の低下により日常生活を営むうえで支障がある高齢者に対して、生活支援および社会参加の促進を図るため、補聴器の購入費の一部を助成します。
- 安全で快適な生活環境づくりと安心感のあるまちづくりを進めるため、道路や河川、水道、下水道の整備および修繕等を行います。

住む場所をつくる

- 老朽化した公営住宅の建て替えのため、実施設計および新築工事を行います。
- 一部の公営住宅については入居条件を緩和し、単身でも入居できるようにしています。
- 町内に住宅を建てる場合の費用や、あわせて購入する宅地の費用、住宅リフォームに要する費用に対して補助を行い、定住促進と町内産業の振興を図ります。
- 新婚世帯を対象に、新生活にかかる引越費用や家賃等の一部を補助します。
- 桂図書館・資料館の空調設備の改修を行い、利用者が快適に学べる環境を提供します。
- 常北公民館の外壁の改修を行い、文化交流のための環境を快適にします。
- 町観光協会が実施するイベントや観光PR活動等の補助を行い、魅力あるまちづくりの推進と町民のふるさと意識の醸成を図ります。

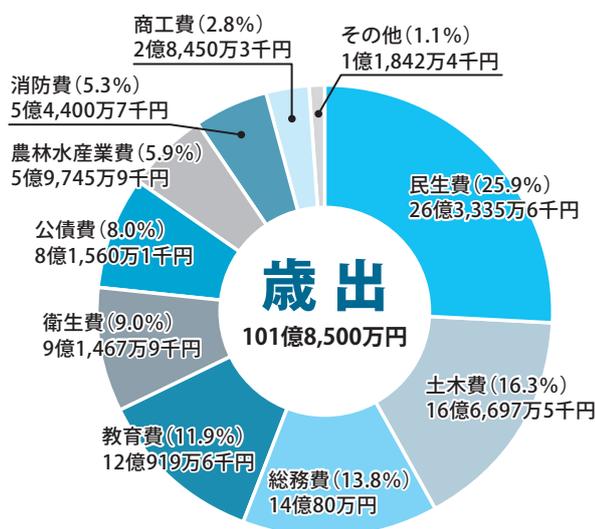
住み続けたいと思っ 心をつくる

- 桂図書館・資料館の空調設備の改修を行い、利用者が快適に学べる環境を提供します。
- 常北公民館の外壁の改修を行い、文化交流のための環境を快適にします。
- 町観光協会が実施するイベントや観光PR活動等の補助を行い、魅力あるまちづくりの推進と町民のふるさと意識の醸成を図ります。

令和5年度 当初予算の概要



一般会計予算総額 101億8,500万円(対前年度比 2.1%増)

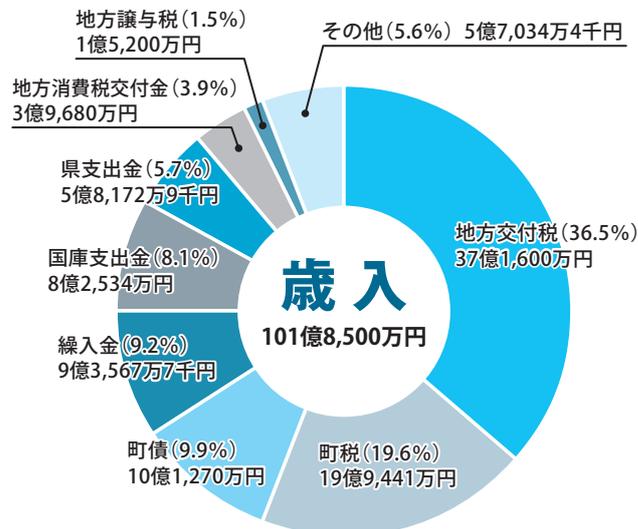


歳出

民生費は、新型コロナウイルス感染症対策として実施した住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業の皆減がありました。新たに放課後児童クラブ整備事業7,433万7千円を計上し、前年度比1.9%増、5,009万7千円の増額としました。

総務費は、施設の電気使用料金の高騰にともない、2,515万4千円を増額し、総務費全体として前年度比5.3%増、6,991万2千円の増額としました。

教育費においても、施設の電気使用料金の高騰にともない、5,782万2千円の増額としました。そのほか、桂図書館・資料館空調設備改修工事9,198万円など、施設の長寿命化に向けた改修事業や、防災対策事業としてコミュニティセンター城里非常用発電設備設置工事4,997万円などを計上し、前年度比14.0%増、1億4,832万8千円の増額としました。



歳入

町債は、昨年度より旧桂村の区域が過疎地域に指定されたことにともない、過疎対策事業債を1億6,340万円増額しました。また、防災対策事業への財源として緊急防災・減災事業債を9,980万円増額し、町債全体として前年度比12.2%増、1億1,030万円の増額としました。

繰入金は、電気使用料金の高騰や普通建設事業費の増加などによる財源不足を補うため、財政調整基金繰入金6億8,700万円をはじめ、各基金からの繰入金が増加し、前年度比70.8%増、3億8,801万6千円の増額としました。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の皆減をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に係る国庫支出金が減少し、前年度比25.9%減、2億8,847万2千円の減額としました。

各会計の当初予算額

会計名	令和5年度予算額	対前年度比
一般会計	101億8,500万円	2.1%増
特別会計等	83億4,078万8千円	2.6%減
国民健康保険特別会計(事業勘定)	21億6,510万5千円	4.8%減
国民健康保険特別会計(施設勘定)	2億2,739万6千円	3.7%減
後期高齢者医療特別会計	2億6,970万6千円	4.1%増
介護保険特別会計(保険事業勘定)	25億4,470万6千円	1.6%増
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	510万5千円	増減なし
水道事業会計	12億3,807万5千円	1.6%増
下水道事業会計	18億9,069万5千円	8.7%減
合計	185億2,578万8千円	0.1%減

商工費

- 観光施設・健康増進施設改修事業 7,330万5千円
総合野外活動センターふれあいの里および健康増進施設ホールの湯の改修工事等を行い、利用者の安全性と利便性を図ります。
- ふるさと応援寄附金事業 2,142万9千円
ふるさと応援寄附金を募り、寄附者への返礼品発送を通して、町内特産品の振興を図ります。
- 住宅新築および住宅新築等用地購入補助事業 1,125万円
町内の施工業者により、住宅を新築する場合の工事費や、新築工事等にあわせて宅地を購入した場合の費用の一部を補助します。
- ★観光プロモーション動画作成事業 165万円
プロモーション動画を刷新することにより、最新の観光情報をPRし、観光の促進と本町への観光誘客を図ります。

土木費

- 町営住宅建替事業 1億803万4千円
老朽化した町営南団地の建て替えのための実施設計および新築工事(2棟)を行います。
- 住宅リフォーム補助事業 300万円
町内施工業者により住宅のリフォーム工事を行う場合、経費の一部を補助します。
- ★木造住宅耐震改修事業 103万円
地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震改修等を実施する費用の一部を補助します。

消防費

- ★本庁舎非常用電源設備増設事業 4,997万円
災害対策本部として使用する庁舎に、太陽光発電設備を増設し、防災力強化を図ります。
- 自主防災組織運営補助金事業 140万円
自主防災組織の結成や設備投資等の運営を補助し、地域の災害対応力の向上を図ります。なお、令和5年度から補助内容が拡充されます。
- ★消防団詰所トイレ設置事業 137万6千円
消防団員の活動環境改善を図るため、消防団詰所にトイレを整備します。

教育費

- ★桂図書館・資料館空調設備改修工事 9,198万円
桂図書館・資料館の快適な利用を図るため、老朽化した空調設備の更新を行います。
- 常北公民館外壁改修事業 6,574万7千円
長寿命化計画により、経年劣化した外壁を修繕し、施設の安全な利用と維持管理を図ります。
- 学校給食費負担軽減事業 歳入減 5,354万7千円
保護者の経済的負担軽減を図るため、町内の小・中学校の給食費を無償化します。



令和5年度 一般会計の主な事業

(★は新規事業)

総務費

- 地域公共交通事業 8,191万3千円
デマンド交通システムの運行費用を補助するとともに、路線バスの運行を維持するため、乗合バス運行事業者に対して補助します。
- 防犯灯維持管理および整備事業 1,003万2千円
防犯灯を設置することで、犯罪の予防および安全な地域づくりの環境を整備します。



民生費

- 医療福祉(マル福)事業 8,586万1千円
小児、妊産婦、母子(父子)家庭および重度心身障害者に対し、医療費を助成します。
- 特例小児・児童医療費助成(マル特)事業 1,499万2千円
マル福対象外の小児と高校卒業までの児童・生徒の医療費を助成します。
- 保育所・認定こども園給食費補助 1,653万4千円
保護者の経済的負担軽減を図るため、1号および2号認定者の給食費を助成します。
- ★補聴器購入費助成事業 50万円
65歳以上の高齢者に対し、補聴器購入費用の一部を助成することにより、高齢者の経済的負担を軽減し、高齢者福祉の増進を図ります。

衛生費

- ストックヤード外構工事 6,902万5千円
ごみ処理施設を解体した跡地に建設した、資源ごみストックヤード施設および粗大ごみ置場の外構工事・設計を行います。
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 5,282万3千円
新型コロナウイルスワクチン接種の体制を整備し、ワクチン接種を行います。

農林水産業費

- 地域おこし協力隊事業(農業分野) 4,188万5千円
町内農家での研修により、栽培技術等の基礎を学びながら就農をめざし、地域の担い手となる人材を確保します。
- ★森林整備業務 418万円
町有地内森林(小勝地内)の下刈りや間伐等の森林整備を行い、景観および環境を改善します。
- ★小規模水田農家等応援給付金事業 300万円
農業用資材等の価格高騰に直面している、水稻作付農家を支援し、生産体制の維持等を図ります(詳細は9ページをご覧ください)。